

諏訪の景気動向

2020年5月

(2020年4月末D・I調査)



石彫公園 (諏訪市)

《2020年5月29日》

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

電話 0266-23-4567(代) FAX 0266-23-8044

諏訪地方の景気動向（2020年4月調査）

「2020年4月アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 201 社のご協力を得て行った 2020 年 4 月の「景気動向調査 (DI 調査)」は、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断 DI が $\Delta 49.7$ となった。前回調査時 (2020 年 1 月末、以下同) の $\Delta 19.9$ から 29.8 ポイント悪化した。前年同期比でも前回の $\Delta 26.2$ から 28.0 ポイント悪化し $\Delta 54.2$ となった。「3 ヶ月前」と比べた製造業の業況判断 DI は $\Delta 41.5$ で、前回の $\Delta 24.8$ から悪化し、非製造業 (商業、観光・サービス業、建設業) の同 DI も $\Delta 66.7$ で、台風 19 号の影響から改善した前回の $\Delta 10.6$ から再び悪化した。「3 ヶ月後」の業況予想 DI は、製造業が $\Delta 66.7$ (前回 0.0) と大幅悪化し、非製造業も $\Delta 59.1$ (前回 $\Delta 3.0$) と悪化して、回答全社では $\Delta 64.2$ (前回 $\Delta 1.0$) となった。3 ヶ月前と比べた回答全社の落ち込み幅は、リーマン・ショックで急減速しつつあった 2008 年 10 月調査の $\Delta 47.3$ を超えた。悪化要因は、新型コロナウイルスの急速な感染拡大から世界各国で入国制限が行われ、国内でも全国に緊急事態宣言が発令され、外出自粛や休業要請でモノや人の動きが停滞したことによる。特に観光・サービス業は $\Delta 90.9$ 、商業が $\Delta 77.2$ と落ち込み幅が大きい。製造業も大幅悪化し、3 ヶ月後の予想はさらに厳しい見方となっている。

製造業は前回、米中貿易協議の第一段階の合意や半導体市場の底入れの兆しなどから、先行きへの期待感があったが、今回は「3 ヶ月前」との比較で業況は 10.4% の企業が好転し、51.9% の企業が悪化した。受注状況 DI は、前回の $\Delta 29.6$ から今回は $\Delta 45.2$ に悪化し、売上 DI も前回の $\Delta 25.6$ から $\Delta 43.7$ 、収益性 DI は $\Delta 27.2$ から $\Delta 38.5$ へそれぞれ悪化幅が広がった。前年同期比も悪化傾向が続いている。「3 ヶ月後」の業況予想 DI は $\Delta 66.7$ で前回の 0.0 から大幅悪化し、さらなる悪化が予想されている。終息の気配が見えない新型コロナウイルスに対する不安の声が多く、大手の生産計画の変更や受注先メーカーの工場閉鎖の影響、景気下振れによる設備投資意欲の低下などが懸念されている。

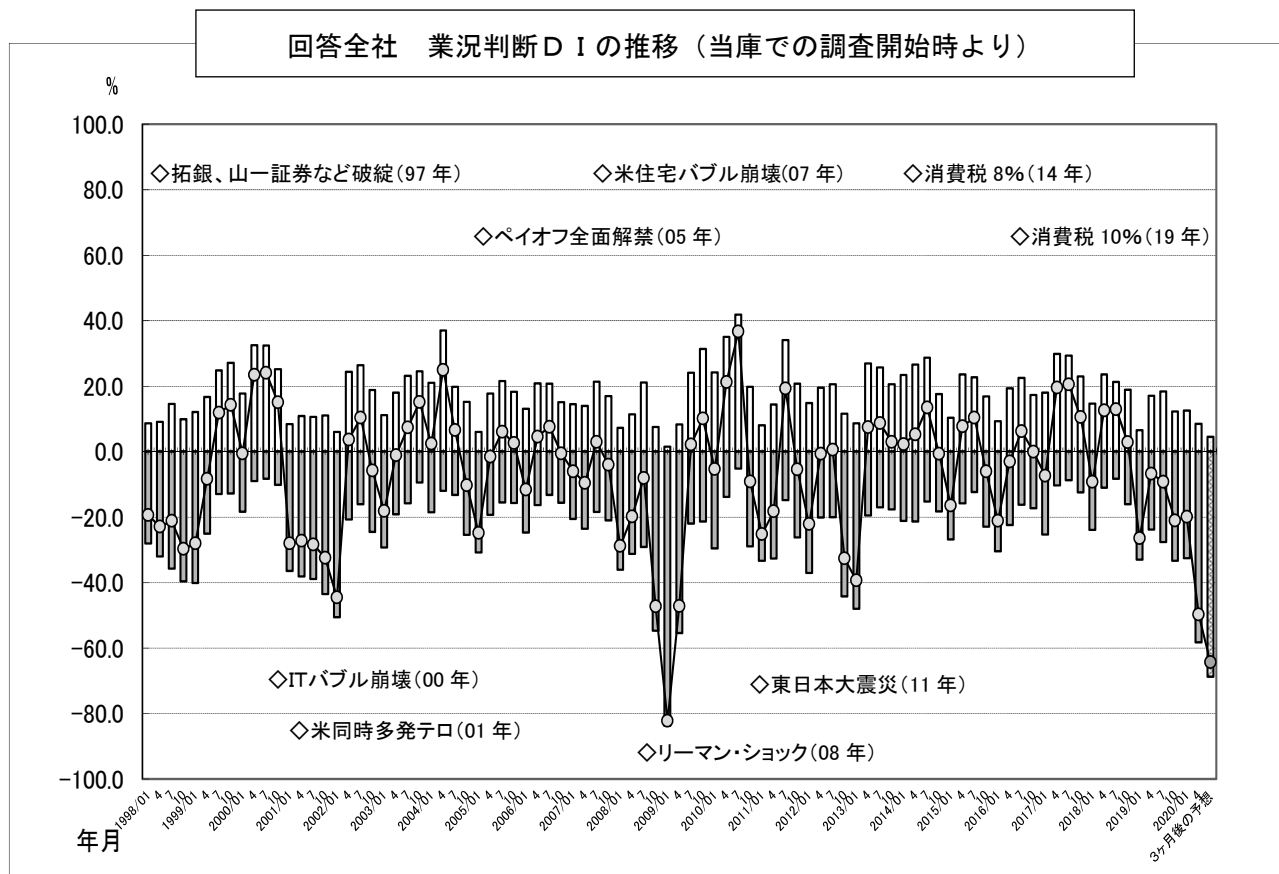
商業は、消費税による駆け込み需要の反動や台風の影響から脱しつつあった「3 ヶ月前」と比べ、業況判断 DI は $\Delta 77.2$ で前回の 0.0 から大幅に悪化した。来店客数 DI が前回の $\Delta 3.3$ から $\Delta 74.3$ と激減し、客単価 DI も前回の 12.9 から $\Delta 48.5$ へ悪化した。「前年同期」との比較でも業況判断 DI は $\Delta 85.7$ で、前回の $\Delta 22.6$ から大幅悪化している。県の休業要請で、諏訪地域の多くの遊興施設、遊技施設、飲食店などが休業や営業時間短縮の対応をした。「3 ヶ月後」の予想は、改善傾向だった収益性 DI が前回の 3.3 から $\Delta 68.5$ と悪化し、業況判断 DI は新型コロナウイルス感染拡大の終息が見込めないことから、好転予想 5.7% に対し、悪化予想は 71.4% にのぼり、前回の 0.0 から $\Delta 65.7$ となった。

観光・サービス業は、最も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた。宿泊客数 DI は好転や横ばいの企業がなく、悪化のみで $\Delta 100$ という異例の数値となった。前回は台風の影響からの回復に加え、「長野県ふっこう割事業」の特需や雪不足の地域から流入したスキー客の取り込みがあり、本格的な観光シーズンへの期待もあって改善傾向だったが、新型コロナウイルスがかき消した。「3 ヶ月前」と比較した業況判断 DI は好転企業がなく $\Delta 90.9$ で、前回の $\Delta 16.6$ から大幅悪化した。「前年同期比」でも業況判断 DI は同様に悪化している。外出自粛や休業要請を受け、一定期間の休業を決めた宿泊施設が多い。本格的な行楽シーズンとなる「3 ヶ月後」の業況

判断予想DIは、例年の動きに反して△54.5 で前回の 16.6 から悪化した。

建設業は、「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは△35.0 で前回の△21.7 から悪化した。受注状況DIは△40.0 で前回の△56.5 からやや改善している。「3 ヶ月後」の業況予想DIは△50.0 で、前回の△17.4 から悪化した。諏訪地方の 2020 年 3 月の新設住宅着工戸数は 92 戸で、前年同期比 38 戸減少(△29.2%)した。2019 年 4 月～2020 年 3 月の累計着工戸数は 1,138 戸で、前年同期比 4 戸減少(△0.4%)した。2020 年 4 月の市町村からの受注工事は合計 44 件 432 百万円で、前年同期比で件数は 9 件減少し、契約金額は 286 百万円減少した。2019 年 4 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は 3 件 197 百万円で、前年同期より 4 件 293 百万円減少(△59.9%)している。

雇用状況は、2020 年 3 月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を 0.33 ポイント下回り、前月を 0.03 ポイント下回る 1.36 倍だった。2019 年度は 12 ヶ月連続で前年同月を下回った。1 倍台の維持は 72 ヶ月連続となっている。長野県内は 1.39 倍で、約 4 年ぶりに 1.4 倍を割り込んだ。全国も 1.39 倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が 1,460 人で前年同期比 199 人減少(△12.0%)し、新規求職者数は 732 人で前年同期比 63 人減少(△7.9%)している。産業別の前年同期比の新規求人数は、運輸業で 34.1%増加したが、生活関連サービス・娯楽業で 35.9%、製造業で 0.2%減少した。求人の要因別は、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順となっている。1 件 10 人以上の人員整理は 1 件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は 46 人で、前年同月より 9 人増加し、前月より 13 人増加した。



新型コロナウイルス感染拡大の諏訪地方への影響

新型コロナウイルスの影響は、感染拡大が始まった前回に比べ急速に強まった。特に観光・サービス業は、前回は「多大」とする企業はなく、50%が「多少」の影響だったが、今回は90.9%が「多大」としている。商業も「多大」は前回3.2%だったが、今回は60.0%となった。建設業も4.3%から15.0%に増えている。製造業は17.6%から34.1%に増加しているが、商業や観光業と比べると、まだ増加幅は小さい。回答全社では「多大」な影響とするのは39.8%となった。一方、3ヵ月後の予想では、「多大」とする企業は製造業が61.5%、商業は60.0%、建設業25.0%、観光・サービス業81.8%となり、回答全社では58.7%に増加している。「多少」の影響と感じる企業も合わせると、97.5%が新型コロナウイルスの影響が継続するとみており、すべての業種で先行きが見えない重い課題となっている。

産業別業況表

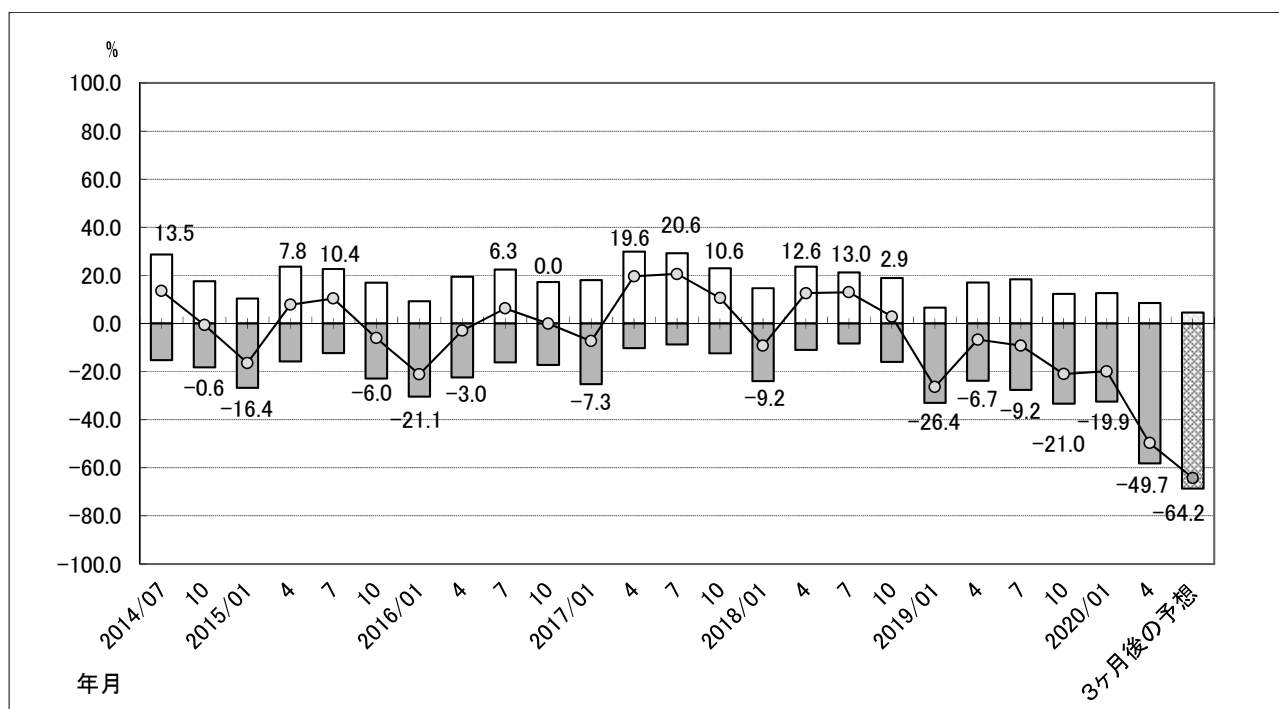
(企業数・%) 表-1

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	201	8.5	33.3	58.2	-49.7	201	7.0	31.8	61.2	-54.2	201	4.5	26.9	68.7	-64.2
製造業	135	10.4	37.8	51.9	-41.5	135	8.1	36.3	55.6	-47.5	135	4.4	24.4	71.1	-66.7
非製造業	66	4.5	24.2	71.2	-66.7	66	4.5	22.7	72.7	-68.2	66	4.5	31.8	63.6	-59.1
商業	35	5.7	11.4	82.9	-77.2	35	0.0	14.3	85.7	-85.7	35	5.7	22.9	71.4	-65.7
建設業	20	5.0	55.0	40.0	-35.0	20	15.0	45.0	40.0	-25.0	20	0.0	50.0	50.0	-50.0
観光・サービス	11	0.0	9.1	90.9	-90.9	11	0.0	9.1	90.9	-90.9	11	9.1	27.3	63.6	-54.5

自社業況判断DIの推移

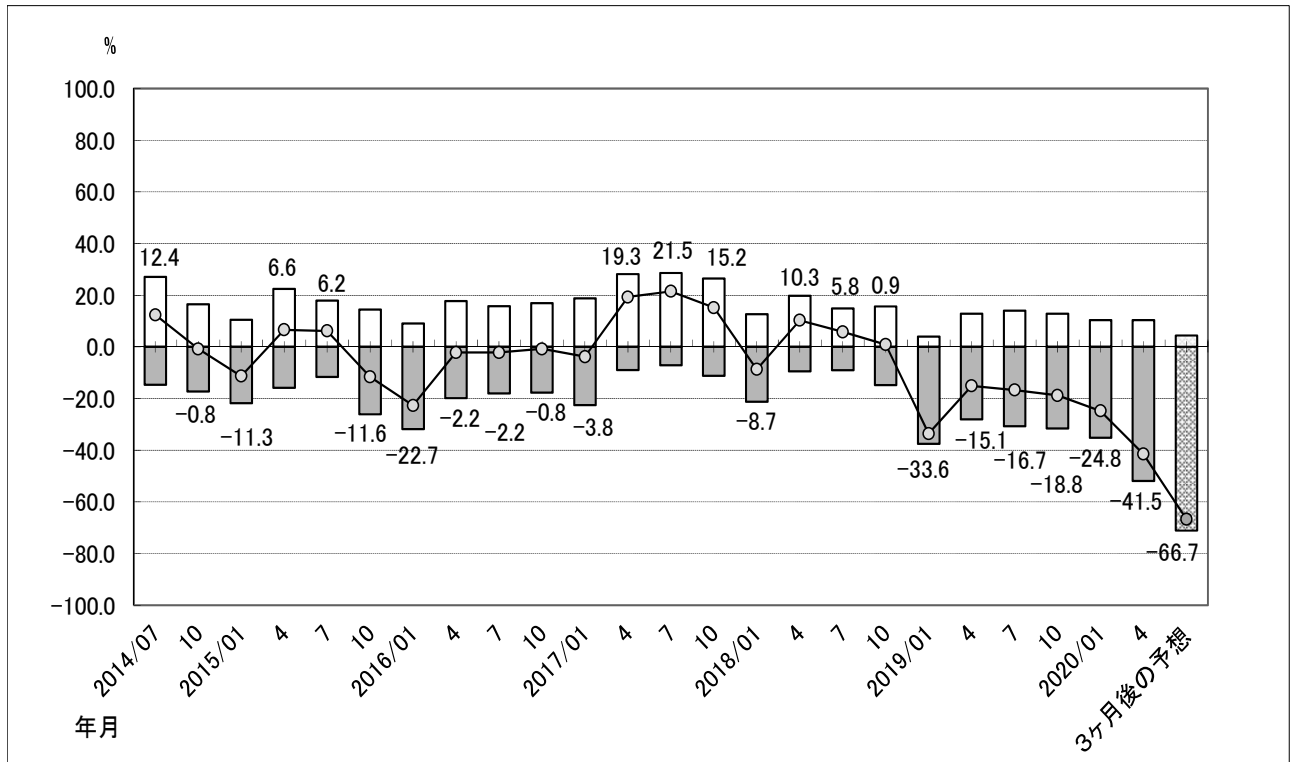
回答全社:「3ヵ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-1



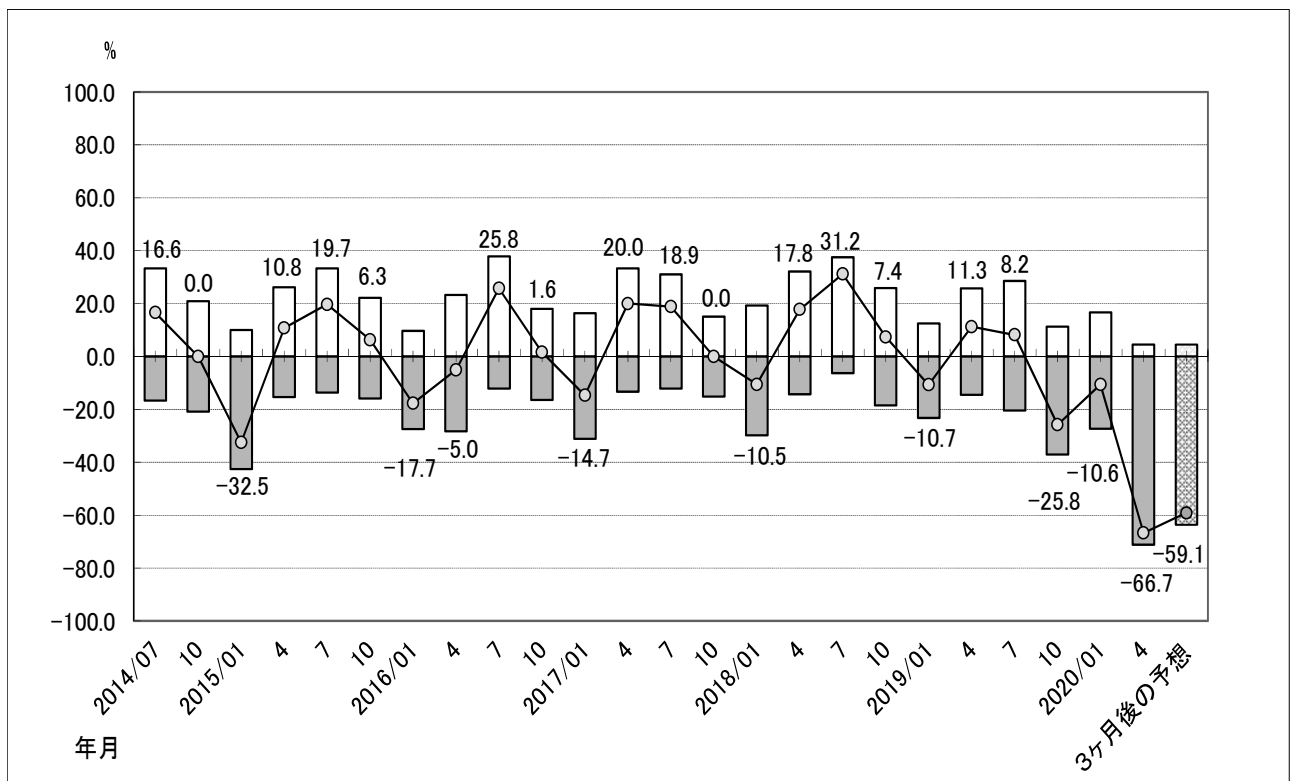
●製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは「3カ月前」と比べ△41.5で、前回の△24.8から悪化した。「前年同期比」は、前回は好転企業がやや増加したが、今回は再び減少し、△47.5で前回の△37.6から悪化した。「3カ月後」の予想は△66.7で、前回の0.0から大幅に悪化した。

設備投資DIは、「3カ月前」に比べて△0.7で前回の2.4から悪化した。「前年同期比」も前回の3.2から0.7へ悪化した。新型コロナウイルス感染の終息が不透明で設備投資をためらう企業が増加し、「3カ月後」の予想DIは△9.7で、前回の4.8から悪化しマイナス水準となった。

収益性DIは、「3カ月前比」で△38.5と前回の△27.2から11.3ポイント悪化し、「前年同期比」も前回の△36.0から△45.9～9.9ポイント悪化した。一方、「3カ月後」の予想は△61.5で、前回の2.4から大幅に悪化した。

業種別(主要5業種)の業況判断DIは「3カ月前」と比べて、「金属製品」は△47.2(前回△18.9)、「精密機械」が△76.9(同△18.2)、「電気機械」が△28.0(同△19.0)と悪化し、「一般機械」が△16.6(同△19.4)、「輸送用機械」は△40.0(同△45.5)と改善した。

「前年同期比」では、「金属製品」が△47.3(同△35.1)、「電気機械」は△36.0(同△23.9)、「精密機械」は△84.6(同△63.6)、「一般機械」は△33.3(同△32.3)と悪化し、「輸送用機械」は△46.6(同△54.5)と改善した。

「3カ月後」の予想DIは「金属製品」は△69.4(同10.8)、「輸送用機械」が△80.0(同0.0)、「一般機械」は△63.4(同△6.4)、精密機械も△76.9(同△9.1)、「電気機械」が△44.0(前回0.0)と、すべての業種で大幅な悪化が見込まれている。

前回調査時点(2020年1月)で、製造業の一部にあった半導体市場底入れの兆しは新型コロナウイルスの感染拡大で薄れた。特に5月以降は一層悪化するとの見方が強くなっており、リーマン・ショック以上のかつてない危機が直撃すると危惧されている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3カ月前と比べて					前年同期と比べて					3カ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	135	10.4	37.8	51.9	-41.5	135	8.1	36.3	55.6	-47.5	135	4.4	24.4	71.1	-66.7	
規模	1～29人	76	9.2	36.8	53.9	-44.7	76	3.9	34.2	61.8	-57.9	76	2.6	23.7	73.7	-71.1
	30～99人	44	13.6	43.2	43.2	-29.6	44	15.9	40.9	43.2	-27.3	44	6.8	27.3	65.9	-59.1
	100人～	15	6.7	26.7	66.7	-60.0	15	6.7	33.3	60.0	-53.3	15	6.7	20.0	73.3	-66.6
分類	金属製品製造業	36	5.6	41.7	52.8	-47.2	36	8.3	36.1	55.6	-47.3	36	2.8	25.0	72.2	-69.4
	一般機械器具製造業	30	16.7	50.0	33.3	-16.6	30	10.0	46.7	43.3	-33.3	30	3.3	30.0	66.7	-63.4
	電気機械器具製造業	25	16.0	40.0	44.0	-28.0	25	12.0	40.0	48.0	-36.0	25	12.0	32.0	56.0	-44.0
	輸送用機械器具製造業	15	13.3	33.3	53.3	-40.0	15	6.7	40.0	53.3	-46.6	15	6.7	6.7	86.7	-80.0
	精密機械器具製造業	13	0.0	23.1	76.9	-76.9	13	0.0	15.4	84.6	-84.6	13	0.0	23.1	76.9	-76.9

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べ $\Delta 47.2$ で、前回調査時の $\Delta 18.9$ から悪化した。「前年同期比」は $\Delta 47.3$ で前回の $\Delta 35.1$ より悪化し、「3ヵ月後」の予想も $\Delta 69.4$ で前回の 10.8 から大幅な悪化予想となった。医療メーカー向けは堅調な面もあるが、自動車メーカー向けは軒並み大幅な減少をしており、今後の受注見通しも読めない状況にある。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 16.6$ で、前回の $\Delta 19.4$ からやや改善し、「前年同期比」は $\Delta 33.3$ で、前回の $\Delta 32.3$ とほぼ同率だった。ただ、「3ヵ月後」の予想は $\Delta 63.4$ で、前回の $\Delta 6.4$ から悪化している。日本工作機械工業会発表の4月の受注額(速報値)は、前年同期比48.3%減の561億円で、リーマン・ショック後の2010年1月以来10年3ヵ月ぶりに600億円を下回った。国内外での生産停止や需要減少を背景に設備投資を手控える動きが目立っている。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは「3ヵ月前比」で $\Delta 28.0$ と前回の $\Delta 19.0$ から悪化し、「前年同期比」は $\Delta 36.0$ で前回の $\Delta 23.9$ から悪化した。また、「3ヵ月後」の予想も $\Delta 44.0$ で前回の 0.0 から大幅に悪化した。電子部品は新型コロナウイルス感染拡大の影響が広がり、車載向けなどで受注が悪化している。一方、5G関連など情報通信関連での受注はいまのところ堅調である。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 40.0$ で、前回の $\Delta 45.5$ からやや改善したが、依然低調に推移している。「前年同期比」は $\Delta 46.6$ で、前回の $\Delta 54.5$ からやや改善した。一方、「3ヵ月後」の予想は $\Delta 80.0$ で、前回の 0.0 から大幅に悪化している。自動車関連はメーカーの生産停止の影響が大きく、受注が大幅に減少している。一部ではEV関連の新規受注も見られるものの、生産計画の停止・延期が続いており見通しは総じて厳しい。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヵ月前」と比べて $\Delta 76.9$ で、前回の $\Delta 18.2$ から悪化し、「前年同期比」は $\Delta 84.6$ で前回の $\Delta 63.6$ より悪化した。「3ヵ月後」の予想は $\Delta 76.9$ で前回の $\Delta 9.1$ より悪化した。医療機器関連が堅調である一方、光学関連は中国からの部品調達が改善される兆しがあるものの、北米・欧州での販売停止によって生産がストップしている状況にある。

②規模別業況

業況判断DIは、「3ヵ月前」と比べて「1～29人」規模は前回の $\Delta 29.8$ から $\Delta 44.7$ へ悪化し、「30～99人」規模も前回の $\Delta 16.6$ から $\Delta 29.6$ へ悪化した。「100人以上」規模も前回の $\Delta 25.0$ から $\Delta 60.0$ へ悪化した。

「前年同期比」は「1～29人」規模が前回の△41.7から△57.9へ悪化し、「30～99人」規模は前回の△30.9から△27.3へわずかながら改善したが、「100人以上」規模は、前回の△37.5から△53.3へ悪化した。一方、「3ヵ月後」の予想は、「1～29人」規模が前回の△10.5から△71.1へ悪化し、「30～99人」規模は前回の16.7から△59.1へ大幅悪化した。「100人以上」規模も前回の0.0から△66.6へ悪化した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヵ月前」と比べて受注状況DIは「増加」企業 13.3%、「減少」企業 58.5%で△45.2と、前回調査時の△29.6から悪化した。「前年同期比」は△51.9で前回の△42.4から悪化した。「3ヵ月後」の予想も前回の△3.2から△66.7へ悪化した。

規模別の受注状況DIは、「3ヵ月前」と比べて「1～29人企業」は△46.1で前回の△34.4から悪化し、「30～99人企業」も△34.0で前回の△19.1から悪化した。「100人以上企業」は△73.3で前回の△37.5から悪化した。「前年同期比」は「1～29人企業」が△63.2で前回の△44.8から悪化し、「30～99人企業」は△29.5で前回の△38.1からやや改善した。「100人以上企業」は△60.0で前回の△43.7から悪化した。「3ヵ月後」の予想は「1～29人企業」が△68.4で前回の△16.5から悪化し、「30～99人企業」は△63.7で前回の14.3から悪化し、「100人以上企業」も△66.6で前回の6.3から悪化した。

業種別(主要5業種)の「3ヵ月前比」は、「輸送用機械」が前回の△45.4から△26.7へ改善したが、「電気機械」は△19.0から△36.0、「精密機械」が△45.4から△92.3、「一般機械」は△25.8から△26.7、「金属製品」が△16.2から△47.3へ悪化した。「前年同期比」では、「輸送用機械」が△54.5から△53.3、「精密機械」は△72.7から△69.2と改善したが、「金属製品」が△37.9から△58.3、「電気機械」は△33.3から△36.0、「一般機械」は△35.5から△46.7へ悪化した。「3ヵ月後」の予想は「金属製品」は前回の2.7から△72.2、「輸送用機械」は0.0から△73.3、「一般機械」が△3.3から△63.4、「電気機械」が△9.5から△44.0、「精密機械」は△9.1から△92.3へいずれも大幅悪化した。

業種別・規模別受注状況表

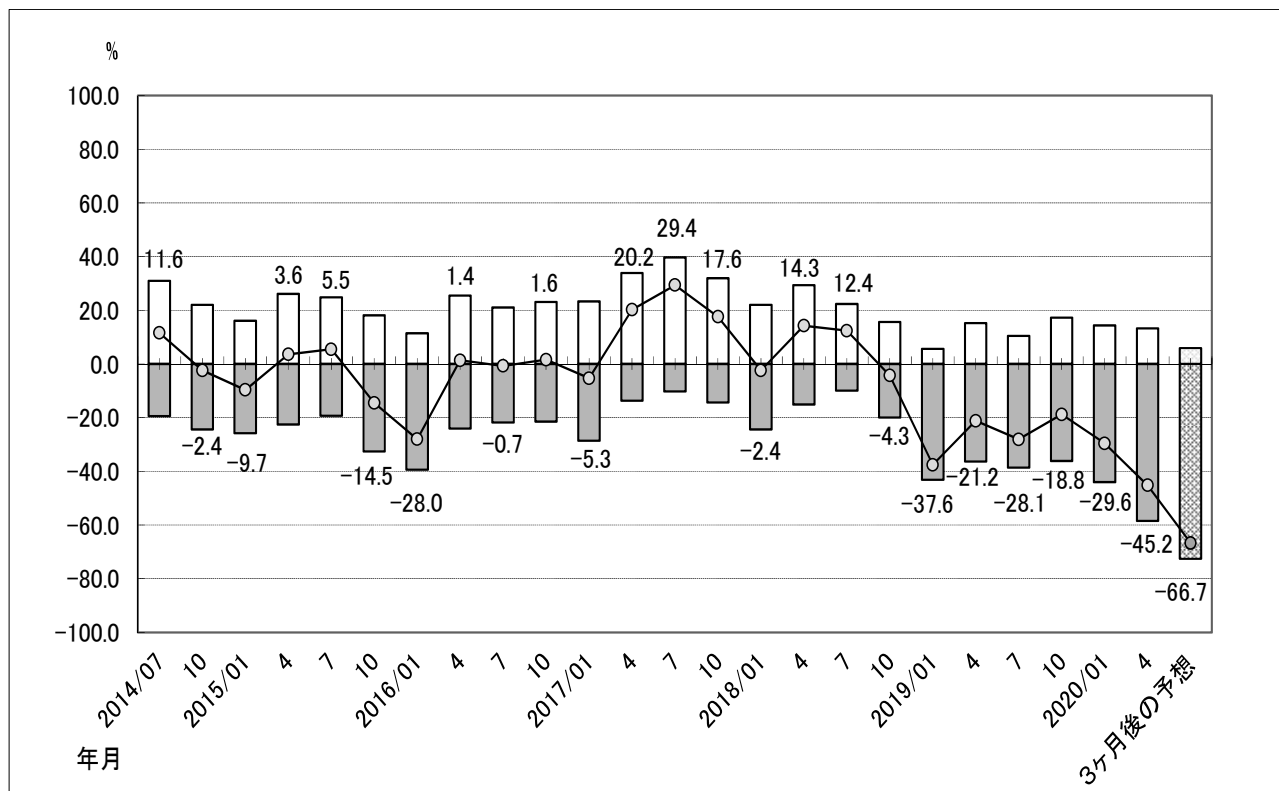
表-3

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	135	13.3	28.1	58.5	-45.2	135	7.4	33.3	59.3	-51.9	135	5.9	21.5	72.6	-66.7	
規模	1～29人	76	10.5	32.9	56.6	-46.1	76	1.3	34.2	64.5	-63.2	76	5.3	21.1	73.7	-68.4
	30～99人	44	20.5	25.0	54.5	-34.0	44	18.2	34.1	47.7	-29.5	44	6.8	22.7	70.5	-63.7
	100人～	15	6.7	13.3	80.0	-73.3	15	6.7	26.7	66.7	-60.0	15	6.7	20.0	73.3	-66.6
分類	金属製品製造業	36	8.3	36.1	55.6	-47.3	36	2.8	36.1	61.1	-58.3	36	2.8	22.2	75.0	-72.2
	一般機械器具製造業	30	20.0	33.3	46.7	-26.7	30	10.0	33.3	56.7	-46.7	30	3.3	30.0	66.7	-63.4
	電気機械器具製造業	25	16.0	32.0	52.0	-36.0	25	12.0	40.0	48.0	-36.0	25	16.0	24.0	60.0	-44.0
	輸送用機械器具製造業	15	20.0	33.3	46.7	-26.7	15	0.0	46.7	53.3	-53.3	15	6.7	13.3	80.0	-73.3
	精密機械器具製造業	13	0.0	7.7	92.3	-92.3	13	7.7	15.4	76.9	-69.2	13	0.0	7.7	92.3	-92.3

製造業の受注状況DIの推移

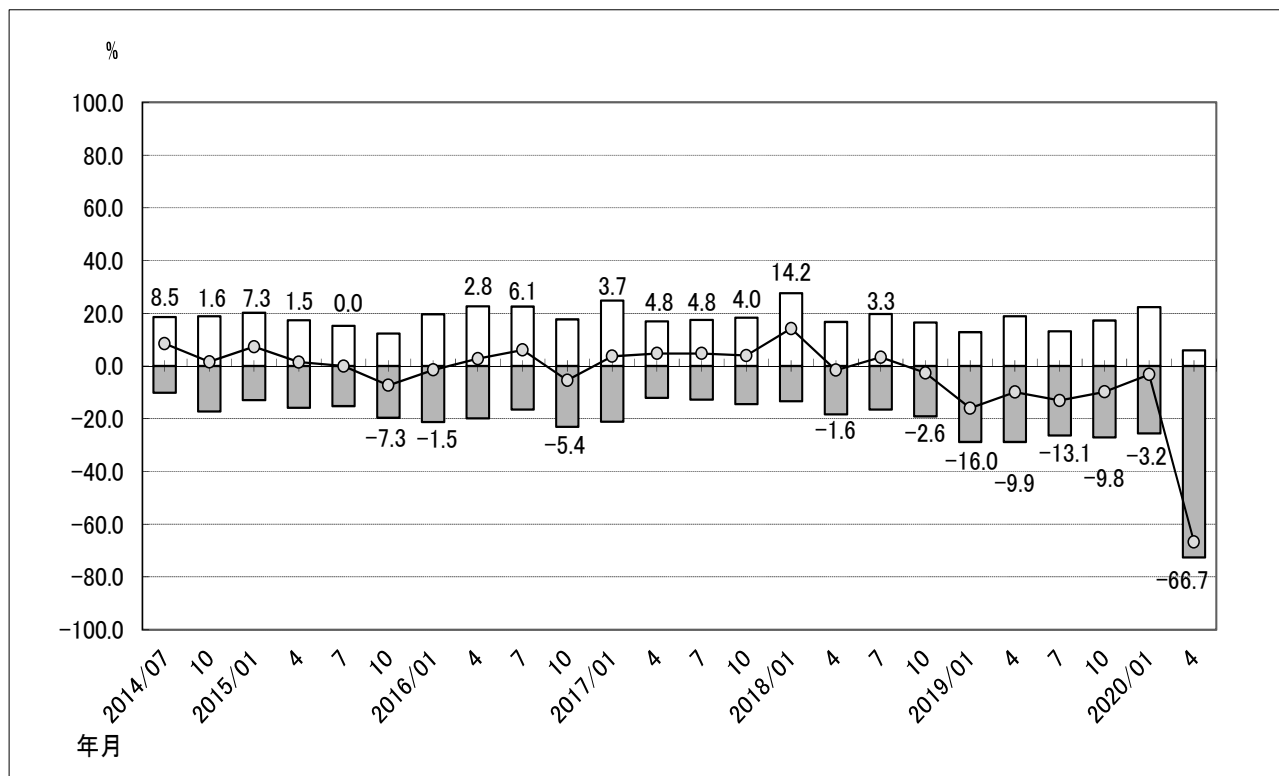
●製造業全社:「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



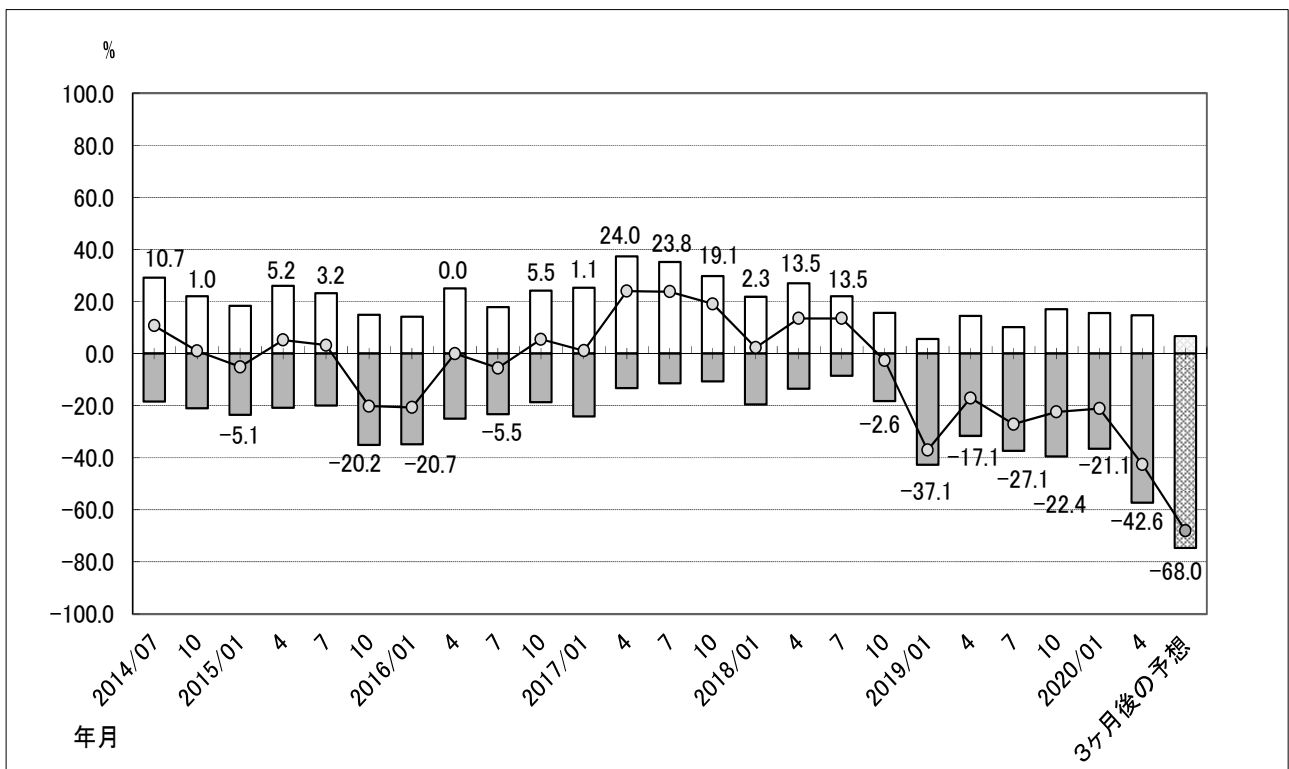
●製造業全社:「3ヵ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



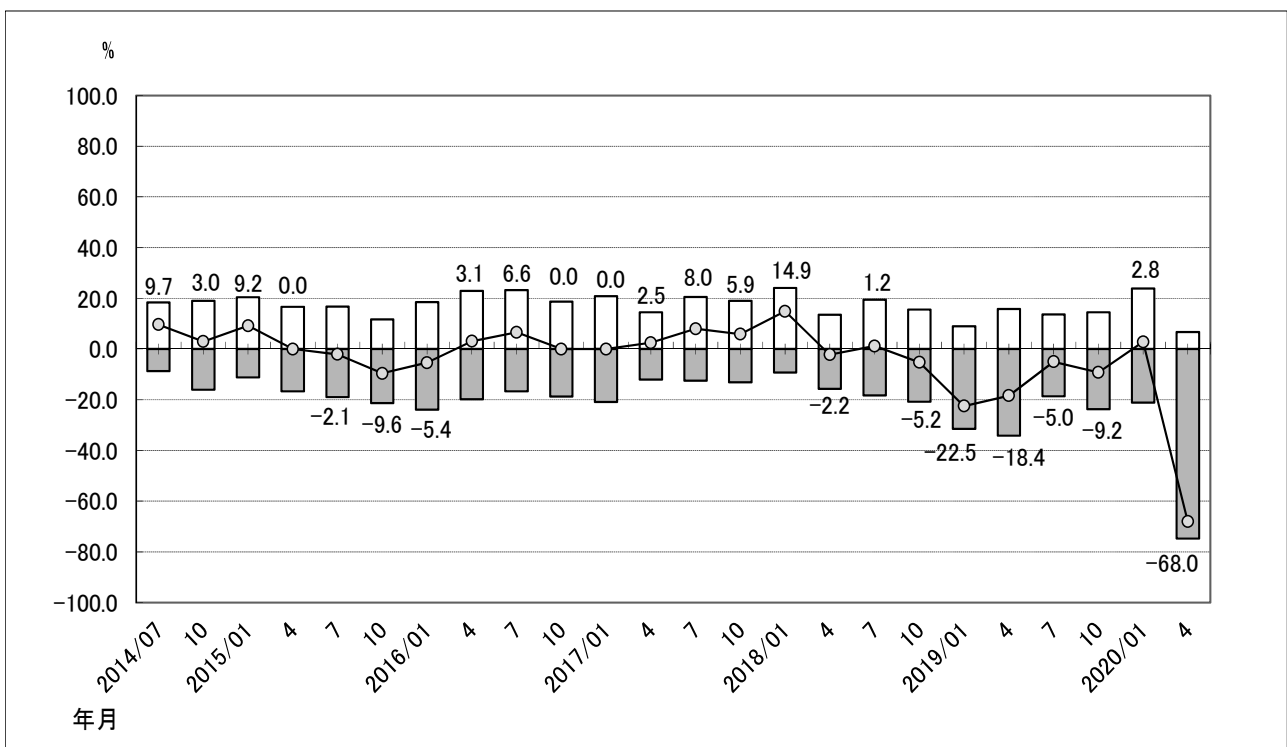
●製造業 主要5業種:「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヵ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

① 商業

「3ヵ月前」との比較で、売上DIは△77.2 と、前回の△3.2 から大幅悪化した。外出自粛要請で飲食店などでは急激に来店客が減少した。休業や時短する店舗が増える一方で、テイクアウトに活路を見出す動きもある。生活物資や在宅勤務でのパソコンなどには需要がある。

- 大型店 食材の買いだめ傾向が続いている。外出自粛から4月の来店客数は減少したものの客単価は上昇している。マスクをはじめとする衛生用品は入荷するようになったが依然として即時完売の状態にある。
- 自動車 諏訪地方の4月の車庫証明件数(軽自動車除く)は769件で、前年同期比では150件減少(△16.3%)した。
- 書店 休校の影響から小学生用のドリルやコミック類の売上が大幅に増加している一方、CDの売上が減少している。
- 飲食店 来店客が大幅に減少し、テイクアウトや通販に注力している。
- コンビニ 外出自粛や休校によって売上が減少、特に土日の減少が著しい。
- 野菜直売所 売上高が大幅減少し、地元生産野菜の収穫量増加に併せてネット販売を計画している。

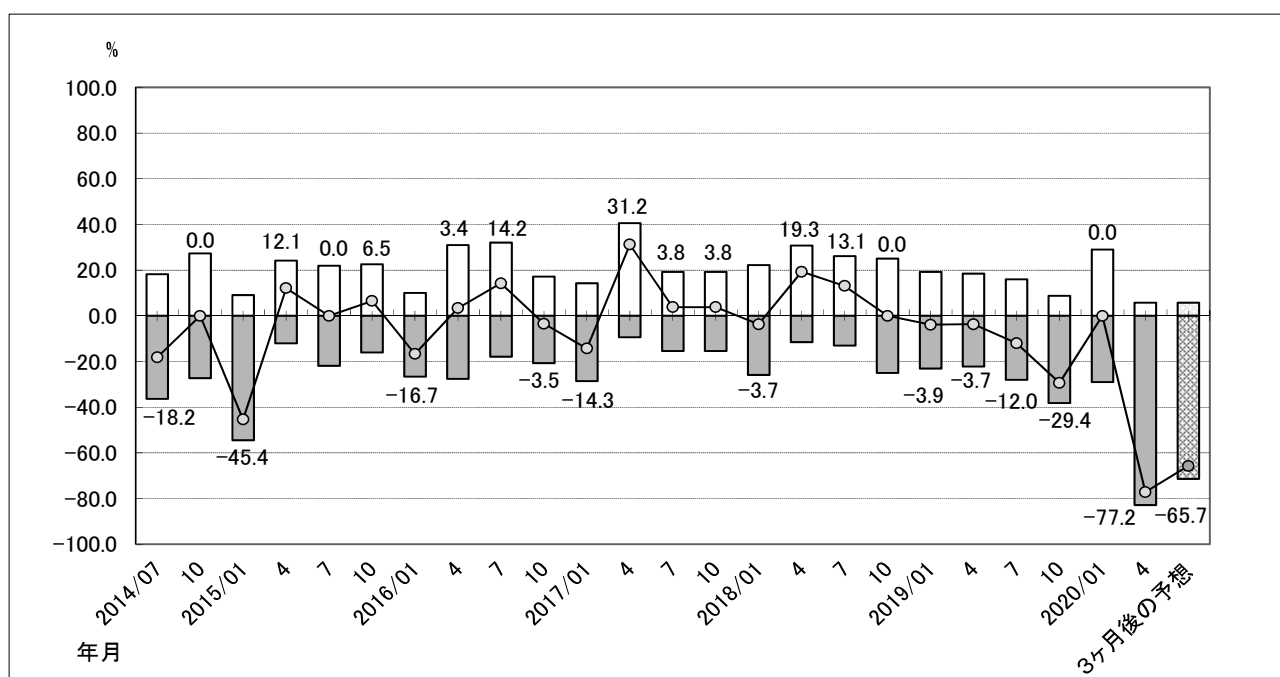
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	35	5.7	11.4	82.9	-77.2	35	0.0	14.3	85.7	-85.7	35	5.7	22.9	71.4	-65.7
客単価	35	8.6	34.3	57.1	-48.5	35	8.6	31.4	60.0	-51.4	35	8.6	31.4	60.0	-51.4
来店客数	35	0.0	25.7	74.3	-74.3	35	2.9	17.1	80.0	-77.1	35	5.7	22.9	71.4	-65.7

●商業全社:「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



② 観光・サービス業

緊急事態宣言が全国に拡大され、越県移動の自粛要請などで旅行需要は急速に減少した。長野県からの感染リスクが高い施設への休業要請を受け、加盟旅館がすべて休館した下諏訪温泉旅館組合をはじめ、諏訪湖畔や高原の多くの宿泊施設が休業した。緊急事態宣言が解除になり今後営業を再開しても、宿泊者の減少が長引くと危惧されている。

- 上諏訪温泉 } 4月中旬以降ほとんどの旅館・ホテルで休館を実施した。大半は5月末まで営業を自粛
- 下諏訪温泉 } しており影響の長期化は不可避となっている。
- 蓼科・白樺湖 4月中旬以降大半の宿泊施設が休館している中、一部には別荘地用のテイクアウトを始める施設もある。また宿泊施設で落ち着いて仕事をするリモートワークプランの問い合わせもあるが、新型コロナウイルス感染防止を優先して断らざるをえない状況にある。夏のトップシーズンに向けた準備もままならず不透明感が広がっている。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた4月の参拝者数は約9,200人で、前年同期比約63,000人減少(△87.3%)した。

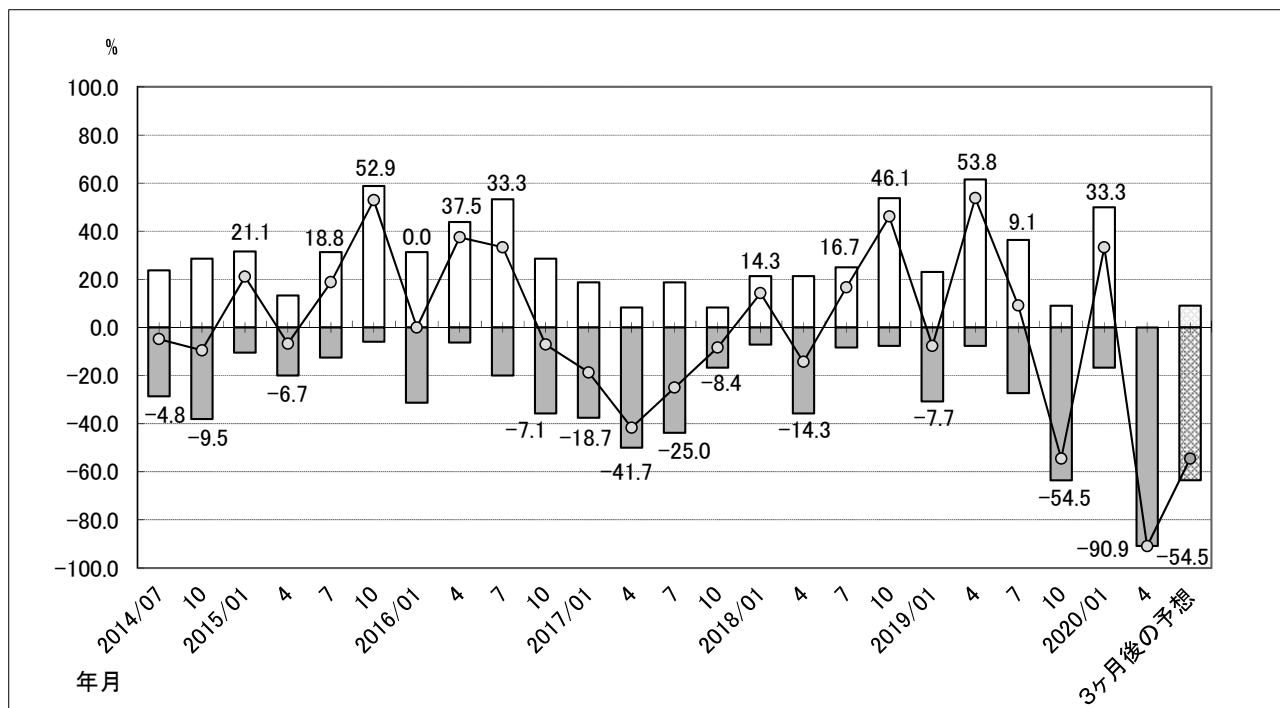
業況、売上、宿泊客

表-5

	3カ月前と比べて					前年同期と比べて					3カ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	0.0	9.1	90.9	-90.9	11	0.0	9.1	90.9	-90.9	11	9.1	27.3	63.6	-54.5
客単価	11	0.0	45.5	54.5	-54.5	11	0.0	54.5	45.5	-45.5	11	9.1	36.4	54.5	-45.4
宿泊客数	11	0.0	0.0	100.0	-100.0	11	0.0	18.2	81.8	-81.8	11	9.1	18.2	72.7	-63.6

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

サプライチェーンの混乱で、必要な部材の不足や納品遅れがあり、「3ヵ月前」と比べ材料等の確保は25.0%の企業が悪化した。「前年同期」と比べた数値は悪化傾向で、業況判断DIは前回の0.0から△25.0、受注状況DIも前回の△4.3から△25.0、外注発注量DIは△17.4から△45.0へ悪化した。「3ヵ月後」の予想DIは、受注状況が△65.0で前回の△26.1から悪化し、業況判断も△50.0で前回の△17.4から悪化した。諏訪地方の2019年4月～2020年3月の新設住宅着工戸数は持家651戸、貸家358戸、分譲125戸、給与4戸で、合計1,138戸となり、前年同期比で4戸、0.4%減少した。

●建築工事

諏訪地方の2020年3月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市25戸、諏訪市4戸、茅野市44戸、諏訪郡19戸の合計92戸だった。長野県全体の3月の新設住宅着工戸数は873戸で、前年同期比11.6%減少した。持家は6ヵ月連続の減少、貸家は2ヵ月ぶりの増加、分譲は2ヵ月ぶりの減少となった。

●公共工事

2020年4月の市町村からの受注工事は、建築工事0件、土木・水道工事32件373百万円、その他工事12件60百万円だった。公共工事の発注は昨年に比べ減少している。

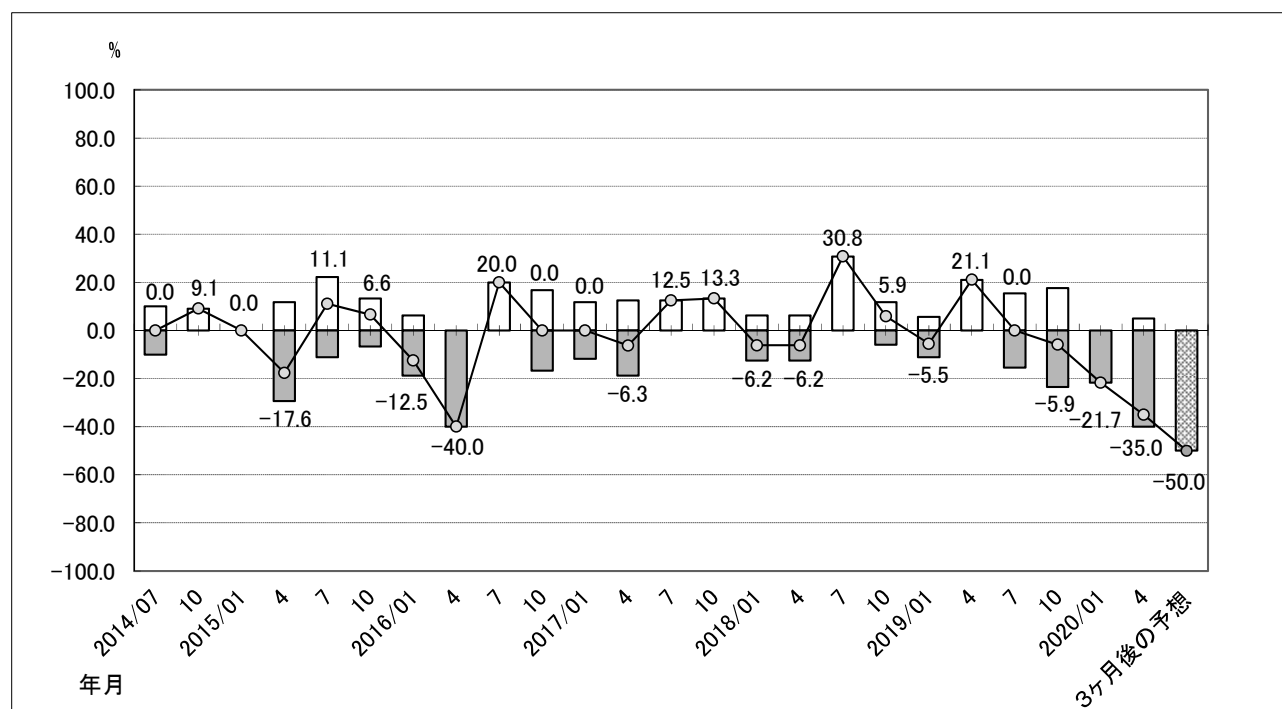
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	20	5.0	55.0	40.0	-35.0	20	15.0	45.0	40.0	-25.0	20	0.0	50.0	50.0	-50.0
受注状況	20	10.0	40.0	50.0	-40.0	20	20.0	35.0	45.0	-25.0	20	0.0	35.0	65.0	-65.0
外注発注量	20	15.0	30.0	55.0	-40.0	20	10.0	35.0	55.0	-45.0	20	0.0	45.0	55.0	-55.0

●建設業全社:「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10

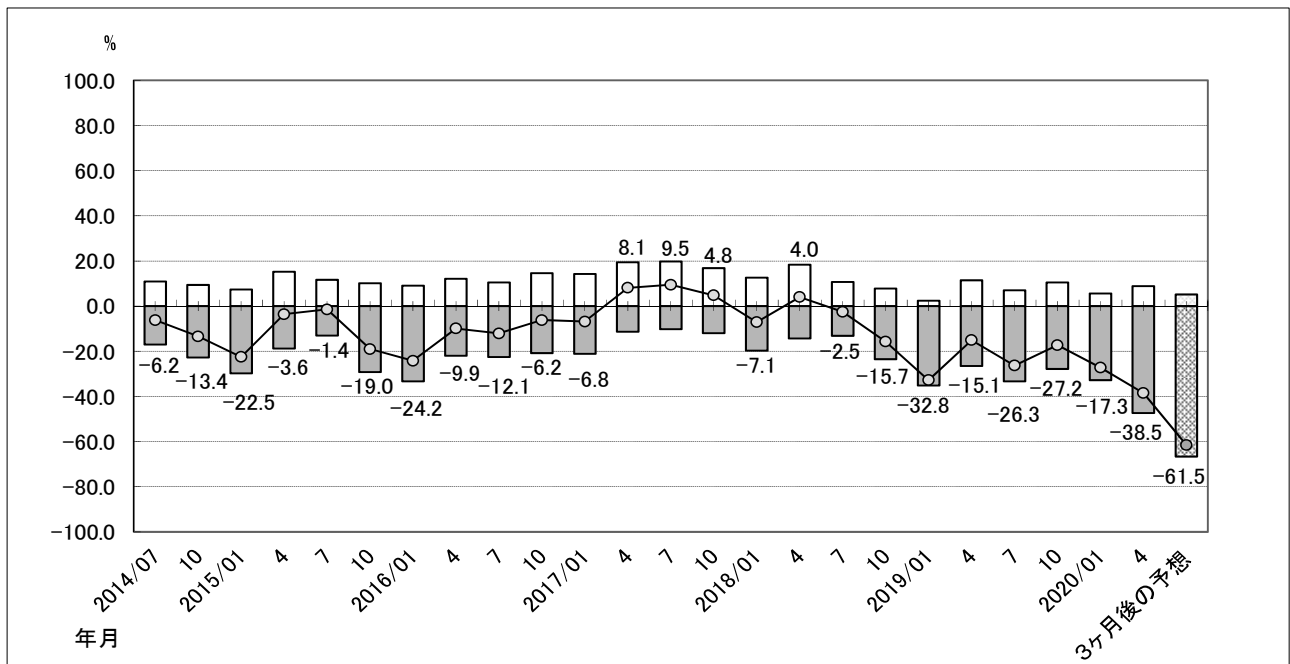


4.収益性状況

回答全社の「3ヵ月前」と比べた収益性は「好転」企業 7.0%、「悪化」企業 52.2%で、同DIは△45.2と前回調査時の△22.0から悪化した。製造業は△38.5で前回の△27.2から11.3ポイント悪化し、非製造業は△59.1で前回の△12.1から 47.0ポイント悪化している。回答全社の「前年同期比」は△50.7で、前回の△30.4より悪化した。「3ヵ月後」の予想DIは、製造業が△61.5で前回の2.4から悪化し、非製造業も△63.7で前回の△4.5から悪化している。新型コロナウイルスの終息が不透明で、回答全社では△62.2となり、前回の0.0から大幅な悪化予想となっている。

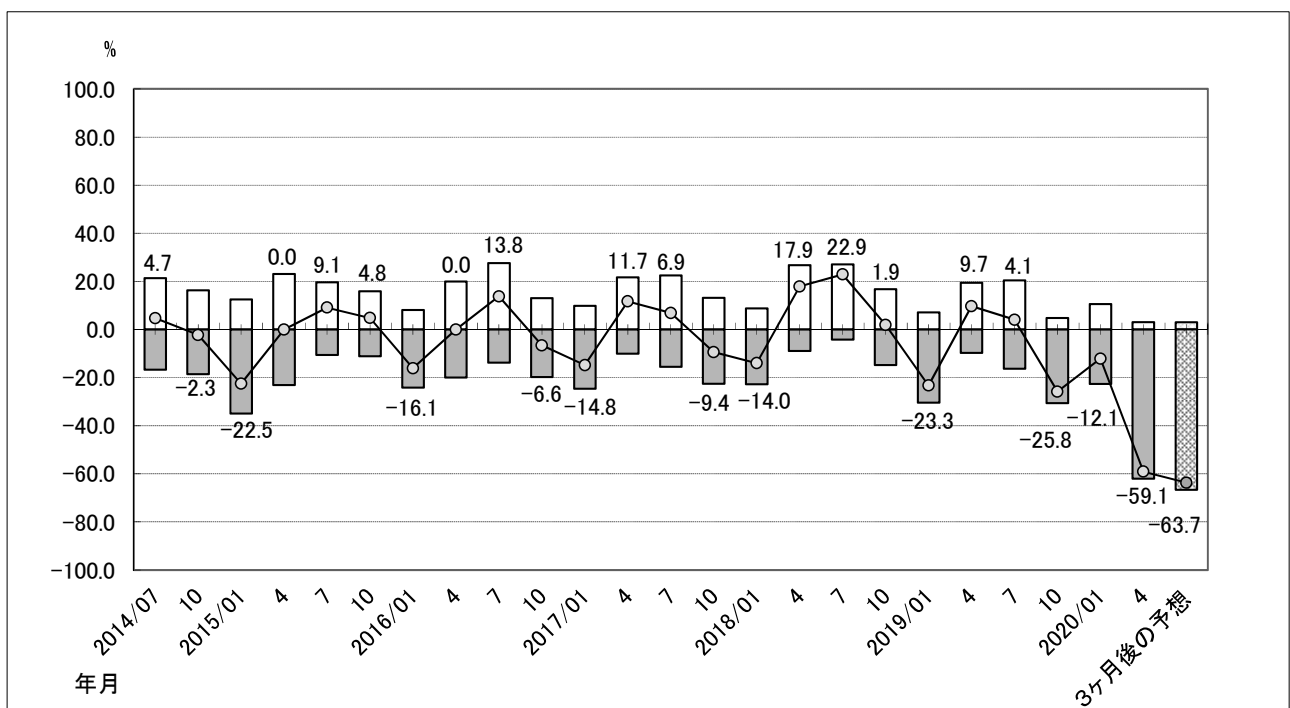
●製造業：3ヵ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業：3ヵ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少と資金繰り②商業は売上減少と資金繰り③建設業は売上減少と労働力確保④観光・サービス業は売上減少と資金繰りとなっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	152	105	26	12	9
単価引下げ	17	9	4	3	1
競争激化	32	23	3	6	0
資金繰り	75	48	13	6	8
人件費	42	25	8	4	5
労働力確保	42	24	8	9	1

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比
有効求人倍率【3月】	ハローワーク諏訪	1.36倍	△0.33ポイント
手形交換高【4月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	3,824枚	△356枚
	金額	5,736百万円	△684百万円
	うち不渡り 発生状況	枚数	0枚
	金額	0千円	0千円
車庫証明取扱件数【4月】(諏訪地方合計)		769件	△16.3%
新設住宅着工戸数【2019年4月～2020年3月】(諏訪管内)		1,138戸	△0.4%

7.調査概要

DI調査:業況などが「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 2020年4月。
- ② 調査内容 「2020年4月時点」の実績と、「3ヵ月前」と「前年同期」の業績比較および「3ヵ月後」の予想。
- ③ 調査方法 DI調査および約130社のヒアリング調査。
- ④ 回答企業数 201企業。
- ⑤ 回答率 80.4%。

DI調査状況

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	160	40	30	20	250
回答数	135	35	20	11	201

「諏訪の景気動向」についてのご意見、ご要望は
諏訪信用金庫 総務部へ
電話 0266-23-4567